

平成 26 年

雲南市議会 6 月定例会
一般質問通告一覧表

【一般質問日程 平成 26 年 6 月 10 日～12 日】

平成 26 年雲南市議会 6 月定例会 一般質問通告一覧表 目次

順番	日程	議席番号／氏名	質問方式	ページ	順番	日程	議員番号／氏名	質問方式	ページ	
1	6/10(火) 9時30分～	2 / 中村辰眞	一問一答	1, 2	11	6/12(木) 9時30分～	15 / 細田 実	一問一答	18, 19	
2		21 / 藤原信宏	一問一答	2～4	12		6 / 多賀三雄	一問一答	19～21	
3	6/10(火) 13時00分～	7 / 細木照子	一 括	4～6	13	6/12(木) 13時00分～	8 / 佐藤隆司	一問一答	21～23	
4		19 / 堀江治之	一問一答	6, 7	14		9 / 周藤正志	一問一答	24, 25	
5		4 / 矢壁正弘	一 括	7～10						
6		6/11(水) 9時30分～	3 / 原 祐二	一問一答						
7	12 / 土江良治		一 括	12, 13						
8	6/11(水) 13時00分～	1 / 松林 孝之	一問一答	13～15						
9		5 / 白築 俊幸	一問一答	15～17						
10		17 / 堀江 眞	一問一答	17, 18						

平成26年雲南市議会6月定例会 一般質問通告一覧表

平成26年6月3日

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
1	2	中 村 辰 眞 (一問一答)	1. 大規模停電に関して 2. 障がい者に対する取り組みについて	<p>5月27日に市内全域で起きた大規模停電で改めて大規模停電に対する危機管理の必要性を感じた。</p> <p>(1)当日いろいろな影響があったと思う。市内において、何世帯が停電したか。また、市立病院、小学校、給食センター、保育所や各公共施設での手洗い用センサー式蛇口等の被害や対応状況について伺う。</p> <p>(2)今回の停電から学ぶ事が多くあったように思う。市の大規模停電、断水に対する今後の対応策が必要であると考えているが、見解を伺う。</p> <p>(1)障がい者雇用について</p> <p>①市内にはB型作業所だけである。A型の作業所の必要性を感じている。新庁舎内にA型の作業所を兼ねたショップや喫茶コーナーを設置してどうか伺う。</p> <p>②市内企業における障がい者に対する求人状況を伺う。</p> <p>③岡山県総社市では、「総社市障がい者千人雇用推進条例」を平成23年に策定し、障がい者雇用1000人を目標に取り組まれている。雲南市としても雇用目標を明確にし、障がい者雇用促進に取り組む考えはないか伺う。</p> <p>(2)障がい者スポーツ促進について</p> <p>①市の障がい者スポーツに対する現在の取り組みを伺う。</p> <p>②スペシャルオリンピックスの島根地区組織が正式に発足した。市としてどのような関わりができるのか所見を伺う。</p> <p>③身障者、知的障がい者のスポーツが今後より盛んになっていくのでは</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				<p>ないかと考える。ユニバーサルデザインの施設整備が必要になると考えるが所見を伺う。</p> <p>(3)障がい児の放課後対策について</p> <p>①放課後の児童対策として、児童クラブ、子どもの部屋などがあるが、利用にあたっては学年に上限がある。この上限を超えた障がい児が放課後を安全に過ごす事のできる場所の確保が必要と考える。日中一時などの支援拡充が急務と考えるが見解を伺う。</p> <p>(4)障がい者に関わる環境を整え、安心して暮らせる雲南市は、多くの市民の安心にもつながって行くのではないかと考えるが、市長の所感を伺う。</p>	
2	21	藤原信宏 (一問一答)	<p>1. 国民健康保険制度の充実強化について</p> <p>2. 当面する観光行政の諸課題について</p>	<p>国保制度は財政上の構造的問題を抱え、運営が厳しい状況に陥っている。</p> <p>①国保会計の赤字を一般会計で補填することに対する見解を問う。</p> <p>②現行制度の下で、医療費抑制など健全運営に向けてどんな努力をしているか。</p> <p>③国保保険者の都道府県単位化に対する利点など見解と、速やかな移行に向けての実現努力を伺う。</p> <p>④保険者が県に移行すれば、市の役割分担はどうなるか。保険税は県内で統一されるか。そうした具体的な制度の協議状況はどうか。</p> <p>⑤制度基盤強化のための国の財源投入について、国に強く声を挙げられたいが如何か。</p> <p>高速道を活用した観光誘客促進に向けた取り組みについて伺う。</p> <p>①民間からの主体的な参画を促し、経営自立化を目指す雲南市観光協会の体制整備について、現状の考え方や取り組みを伺う。</p> <p>②宿泊施設や交通機関、観光名所を案内し、地元産の土産物販売や休憩所</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			3. 市役所の労働環境整備と能力開発について	<p>等を備えた観光の玄関口たる「観光センター」を、市の中心部、三刀屋木次IC近くに設置する考えはないか。</p> <p>③観光事業の新たなビジネスモデルにチャレンジする事業者に積極的な支援はどのように考えているか。</p> <p>④一時期に集中する観光客を持続・平均化するための、閑散期の誘客への取り組みはどのように考えているか。</p> <p>⑤道の駅「たたらば壱番地」のトイレ増設を、尾道松江線全線開通までに是非とも間に合わせるべきと考えるが見通しはどうか。</p> <p>⑥「菅谷たたら山内」の高殿横の桂の木が、根を覆う道路舗装で早晚枯れると指摘されている。施設周辺の一定区間を土道、或いは趣のある浸透性の舗装にして価値を高めるような施工はできないか。</p> <p>⑦「平和を」の発信拠点、永井隆記念館の調査事業が実施計画に盛り込まれた。時間をかけてより良い施設を検討するために、場所の決定を急ぎたいが如何か。</p> <p>⑧将来の我が国を担う小中学生に日本の近現代史を教育する（日本が太平洋戦争をどの様に戦って、何故負けたか）ため、記念館の一室に近現代史の勉強館や持ち込み型の資料展を併設する考えについて伺う。</p> <p>士気を高める市の職場環境づくりは、まちづくりの基礎であり、職員が自ら考え自ら行う、自主的・創造的な芽を育ててこそ本市の将来に明るい展望が開ける。</p> <p>①行政サービスを担う職場の非正規化が進む中で、市の官製ワーキングプアについてどう考えるか。</p> <p>②臨時・非常勤職員の役割を正しく評価し、基本賃金、手当等の処遇改善</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				<p>を検討すべきである。その考えはないか。</p> <p>③1年以上勤務した臨時職員等は契約を更新し、雇止めは止めるべきと考えるが如何か。</p> <p>④正規職員は、事務量の増加に伴い健康上の負担が増している。業務負担の増加の現状を市長はどう捉え、職員の働きぶりをどう評価しているか。負担増やメンタルヘルス等の健康に対する対策をどの様に考えているか。</p> <p>⑤適材適所とするための人事異動はどの様な考えで行われているか。自己申告は配慮されているか。</p> <p>⑥人事評価をどう生かし、能力開発のための人材育成・研修はどう行っているか。</p> <p>⑦職員の地域活動への参加促進の考えはどうか。</p> <p>⑧職員提案制度の取り組み状況と具体の成果・活用について伺う。</p>	
3	7	細木照子 (一括)	<p>1. 老人クラブへの支援強化について</p> <p>2. 災害避難対策について</p>	<p>(1)以前から老人クラブへ加入率が高く、活発に活動しておられる地域は、高齢者の医療費用が少ないと言われている。科学的根拠に基づいて分析したものではないが、島根県8市の中で、老人クラブ加入率は雲南市が1番高く、後期高齢者医療被保険者1人当たり費用額は、雲南市が1番少ない。老人クラブへの支援を強化し、健康づくりを後押しする考えはないか伺う。</p> <p>(1)災害に遭遇した場合には、「如何に上手に逃げるか」が基本だと言われている。しかし、地域で避難対策を話し合う場合、基本的・専門的な分析は難しい。行政として基本的・専門的な地域分析を示して、各地域と共に避難対策を考える事が合理的だと思うが、取り組む考えがあるか伺</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			<p>3. 野菜生産農家への指導・支援について</p> <p>4. 有害鳥獣対策の取り組みについて</p> <p>5. 子供の運動機能低下について</p> <p>6. 一人暮らし高齢者の安否確認について</p> <p>7. 図書館の図書貸し出しについて</p>	<p>う。</p> <p>(1)農業も米作から野菜生産の魅力が大きくなってきた。野菜生産農家へ雲南農協からの支援はあるが、市として指導、支援など激励するような場面をもっているか伺う。</p> <p>(1)有害鳥獣の増加による悪影響は、農林業だけでなく、自然生態系でも深刻化している。有害鳥獣の捕獲を促進し、生息数を適正規模に減少させる「改正鳥獣保護法」も5月23日に可決、成立した。雲南市としての取り組みの考えを伺う。</p> <p>(1)今の子供は携帯電話やテレビゲームに熱心で、運動量が少ないと思う。いま「しゃがむ」、「片足立ち」が出来ないという運動機能の低下が問題になっているが、市内の実態、学校や家庭への指導について伺う。</p> <p>(1)岐阜県では、全国でも珍しい「水道使用量」を活用した一人暮らし高齢者の安否確認の取り組みがある。市でも検討出来ないか伺う。</p> <p>(1)図書館の本の貸し出しを、利用者カードを所有する者は、電話での申し込みが出来るよう検討出来ないか。自家用車が運転出来ない高齢者なども利用出来るのでは。</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			8. 確定申告の「医療費控除」項目の拡大の働きかけについて	(1)確定申告の「医療費控除」に、病気予防関連の「予防接種費用」、「風邪予防のうがい薬代」、「栄養ドリンクや健康補助食品代」、「健康器具費用」等を追加するよう働きかけ出来ないか。	
4	19	堀江治之 (一問一答)	1. 自治会加入促進について 2. 地球温暖化対策について	(1)市内の自治会加入率は、以前と比較すれば減少しているものと認識しているが、その現状はどのような状況なのか伺う。 (2)雲南市として自治会加入促進に取り組むと言われていたが、これまでどのような取り組みをされて来たのか伺う。 (3)加入率が低くなることにより、地域の連携・地域防災等に支障をきたす事が懸念されるが、今後雲南市として、どのような施策をもって加入率向上に取り組まれるのか伺う。 (1)雲南市の地球温暖化対策の取り組みについて ①雲南市が現在取り組んでいる地球温暖化対策の取り組みの現状について伺う。 (2)雲南市地域新エネルギービジョンについて 平成19年に、平成26年を目標とした新エネルギーを具体的に導入するための重点プロジェクトが策定されているが、その目標達成状況と今後の取り組み方針について伺う。 ①森林バイオマス活用プロジェクトのペレットストーブの導入促進及びチップボイラーの導入促進。 ②RDF活用プロジェクトのRDFボイラーの導入促進。 ③温泉熱活用プロジェクトの海潮温泉へのヒートポンプの導入促進。 ④太陽エネルギー活用プロジェクトの学校への太陽光発電設備の導入促	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			3. 学校給食について	<p>進・太陽電池式街路灯の導入促進及び住宅への太陽光発電設備の導入促進・住宅への太陽熱温水器の導入促進。</p> <p>⑤クリーンエネルギー自動車導入プロジェクトのハイブリッド自動車の導入促進。</p> <p>⑥目標達成・目標未達成プロジェクトの今後の取り組み方針について伺う。</p> <p>(1)給食食材について</p> <p>①地元産食材の自給率の現状と主な食材納入者について伺う。</p> <p>②地元産食材の自給率向上の策があるのか伺う。</p> <p>(2)子育て支援策として、給食費の個人負担額の免除又は減額の考えはないのか伺う。</p>	
5	4	矢 壁 正 弘 (一 括)	1. 農業政策について	<p>(1)市の農業政策について伺う。</p> <p>雲南市は山間の限られた耕作地による農業であって、国が目指す農業とは程遠いように思える。個人農家にとっては死活問題だ。国は個別補償金制度を見直し、引き下げ廃止を決定している。市として減額分を補助していくなど、独自の補助制度を実施する考えは無いのか伺う。</p> <p>(2)集落営農組織の法人化について伺う。</p> <p>①市は集落営農組織等の法人化を推進しているが、法人化された団体は、集落営農組織では18%、認定農業者では38%に留まっている。法人化へ向けて各団体への説明が不足しているように思えるが、どのように周知を図っているのか伺う。</p> <p>②法人化された団体からは、法人化は良かったと聞く。法人化が進まな</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				<p>い理由についてどのように考えているのか伺う。</p> <p>③これから先、法人化を推進していくための問題点と解決策はどこにあるのか見解を伺う。</p> <p>④集落営農組織法人が管理している農地の中に、相続人の所在が分からない等による耕作放棄地となっている土地がある。病虫害の被害の恐れもある。市として対策を真剣に検討する時期が来ているのではないかと思う。中間管理機構制度の中にも同じような案件が載っていて解決策があるように記載してあるが、同じ対策が取れないか見解を伺う。</p> <p>(3)中間管理機構制度について伺う。</p> <p>①この制度は今後 10 年間で、担い手の農地利用が全農地の 8 割を占める農業構造を実現するのを目的としているが、農地の借受け・貸付けの項目で利用することが困難な農地は借り入れないと記述がある。雲南市にはこういった農地が多数あり、耕作放棄地にもなっている。この内容では雲南市のような地域では問題の解決にはならない様と思うが、見解を伺う。</p> <p>②一度借り上げても相当期間経過後も貸付けが見込まれない場合、貸借契約を解除するとある。その時点で元耕作者が耕作不能となっていた時には耕作放棄地が拡大する恐れがあるが、見解を伺う。</p> <p>③現在、個々に契約を結んで耕作を請け負っている認定農業者にはあまりメリットが無いと聞いた。貸し手側は補助金が保証される中間管理機構に貸し出したほうがメリットがある。現在の契約を解除して新たに契約を結ぶなどの不利益が個人の認定農業者に生じないか、見解を伺う。</p> <p>(4)農業機械による災害について伺う。</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			<p>2. プレミアム商品券について</p> <p>3. 市民税等のコンビニエンスストア</p>	<p>①全国的に農作業による死亡事故が増えている。農林水産省の統計によると、交通事故・労働災害の4倍の発生率となっている。過去雲南市で発生した事故状況を把握し、調査・検討がなされているか伺う。</p> <p>②近年、高齢農業者の事故割合が増えている。農作業死亡事故件数の4分の3が65歳以上で、死亡事故の原因別は、農業機械の操作ミスに伴うものが7割を占め、その約半数が乗用トラクターによるものとなっている。農作業安全月間に併せ、JA等と協働してトラクターの運転講習会等、農業機械の安全講習会を開催してはと考えるが、見解を伺う。</p> <p>(1)プレミアム商品券販売について伺う。</p> <p>①平成24年度、初回の販売について時期が悪かったのではという意見を受け、平成25年度は年末年始商戦にあわせての販売となった。今回、消費税の増税による購買意欲の低下を考え6月15日販売が決定している。これは雲南市及び雲南商工会だけの決定だったのか、広く市民の皆様の声を受けてのことなのか。市民からは、年末年始の時期がよいとの声を聞くが、見解を伺う。</p> <p>②これから先も長く続けて欲しい制度だ。この先も今回のようにその時の時世に合わせた販売期日とするのか見解を伺う。</p> <p>③販売制限があるが、複数の販売所を回り何セットも購入が可能になる等、過去2回の実施で様々な問題点が出てきたと思うが、対策はなされているのか伺う。</p> <p>(1)市民税・公共料金等コンビニエンスストア収納について伺う。</p> <p>①平成25年3月議会の一般質問の答弁では、口座振替の収納率が高いの</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			<p>一収納について</p> <p>4. スマートウェルネスシティ首長研究会への自治体加盟について</p>	<p>で今は考えがないとのことであった。市民からは仕事等多忙で時間内に金融機関に振込みに行けない、コンビニで振込みが出来れば助かるがとの声を多く聞く。市税・公共料金等の徴収率アップのためにも、今一度検討する考えはないか見解を伺う。</p> <p>(1)スマートウェルネスシティ首長研究会への自治体加盟の提案</p> <p>①いまスマートウェルネスシティとよばれる「健康づくりは(まち)づくりから」という、少子高齢化社会においても住民が健康で幸せに暮らしていくための地域一体となった取り組みが実施され、事業として支援されてスマートウェルネスシティ首長研究会という組織が立ち上がっている。このスマートウェルネスシティ構想は、市長が表明し、雲南市が目指しているまちづくりに非常に類似性があると感じられ、雲南市として早期の組織加盟に取り組み、事業へ参加していくことで、国からの事業支援も含めて非常に有用性があるものと思う。市長の考えを伺う。</p>	
6	3	原 祐 二 (一問一答)	1. 土地利用ビジョンについて	<p>(1)都市機能地域について</p> <p>①策定中の第2次雲南市総合計画における基本構想では、都市機能地域の中核拠点ゾーンを新たに、中心市街地エリア・医療機能エリア・定住機能エリアに区分し市街地整備を進めるとされているが、具体的なエリア機能について伺う。</p> <p>②中核拠点ゾーンには、公共施設や商業賑わいの拠点、産業集積を図るとされているが、公の施設見直し検討27施設は、このゾーンに集中配置するか伺う。</p> <p>③中核拠点ゾーンでは、「必要な制度」を取り入れて公共施設や商業賑わ</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			2. 再生可能エネルギーについて	<p>いの拠点、産業集積を図るとされている。中心市街地エリア・医療機能エリア・定住機能エリアそれぞれの必要な制度について伺う。</p> <p>④中心市街地活性化認定による、想定する公共事業、民間事業、ソフト事業について伺う。</p> <p>⑤まちづくり会社の設立が最大の課題と考えるが、本市及び他市の状況について伺う。</p> <p>⑥エリア設定においては、国道54号沿線と国道からJR木次駅をつなぐ沿線とすべきと考えるが所見を伺う。</p> <p>(2)生産振興・交流促進地域について</p> <p>①美しい農山村風景を保全していくとともに、農林業の生産振興のための住環境整備の優先施策は何か伺う。</p> <p>②山間部では、イノシシ被害による農地荒廃の拡大により、住環境は悪化し集落の縮小が進んでいる。イノシシ被害による農地復旧への新たな支援策を創設できないか伺う。</p> <p>③農地中間管理事業による農地の有効利用は、農地荒廃にどの程度の抑制効果を期待できるか伺う。</p> <p>(3)住環境開発地域について</p> <p>①市内で2つのエリアが設定されているが、南部エリア（掛合・吉田）のニーズと住宅団地整備と宅地開発計画について伺う。</p> <p>(1)バイオマスエネルギーについて</p> <p>①バイオマス燃料である林地残材の搬出量と今後利用が見込まれる熱供給施設との需要供給バランスについて伺う。</p> <p>②前年度の森林バイオマス活用事業補助金（林地残材活用・林業機械導</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				<p>入・薪ストーブ等導入) の実績について伺う。</p> <p>(2)太陽光エネルギーについて</p> <p>①住宅用及び事業所用のほか、自治会集会所や遊休地など太陽光発電導入促進事業の拡充を図ることができないか伺う。</p> <p>②太陽光発電と組み合わせた、蓄電池システムの導入について所見を伺う。</p> <p>(3)市長の再生可能エネルギーへの取り組み姿勢と所見を伺う。</p>	
7	12	土江良治 (一括)	1. 既存商店街再生のまちづくりについて	<p>商店街は地域経済・社会環境の中で適応しながら存続するもので、変化に対応出来なければ必然的に衰退する。その例として、空き店舗は新陳代謝の過程で必然的に発生する現象。このほど20年先を見越した都市計画マスタープランが示され、地域別のまちづくり計画も示された。そこで、伺いと若干の提案をしてみたい。</p> <p>(1)既存商店街の現状をどのように見ているのか。</p> <p>(2)マスタープラン策定に向け、これまでの取り組みとその成果や反省を、どのようにまとめ反映されているか。</p> <p>(3)地域別まちづくり計画に市街地・集落整備が示されている。ここにおける既存商店街の現時点での取り組みの考え方を伺う。</p> <p>(4)共存共栄を目的とする、商店街本来の機能が維持できなくなる商店街化している。そうした中であって、行政の支援策として提案する。</p> <p>①積極的な研修プログラムを組み、リーダー養成を図るための先進地視察を含む研修機会の充実を図ってはどうか。</p> <p>②空き店舗にテナントの出店者が少ない。眠っている民具がたくさんあるが、空き店舗数店に民具を展示してみてはどうか。通りに賑わいが生まれるのでは。</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			2. 定住促進について	<p>③飲食宿泊業支援として、集客のため数店舗共有で使用または商工会が管理し貸し出しができる大型車輛の購入に対する助成事業を行ってはどうか。</p> <p>④さくらおろち湖ボートコースが平成 28 年度高校総体ボート競技会場になったことから「全国高校総体準備室」が設置された。これを拡充し、夢ある合併 15 周年に向け、市内高校の甲子園出場を後押しする専門部署を設置してはどうか。対外試合を活発化させることによる市内への宿泊や飲食により、飲食業の活性化に繋がるのでは。</p> <p>市は人口減少対策として定住促進に力を入れ、雲南暮らし体験ツアーを実施している。テーマ毎の定住希望者のツアーや、ツアー以外で受入れがされている。その際の宿泊は大東町のだんだん工房、日登のかやぶきの里などが利用されている。そこで一つ提案してみたい。</p> <p>(1)市内にコテージを備えた施設が指定管理のもと運営されている。このコテージをツアー以外で訪れる、空き家バンク制度を利用して定住希望される家族へ、登録制により格安で泊まれるようなことはできないか。宿泊に併せ、市内を案内し、住みやすいところだと確かめていただければと思うが。</p>	
8	1	松 林 孝 之 (一問一答)	1. 今後の人口対策について	<p>第 2 次総合計画の策定に向け、基本構想案に「課題先進地」から「課題解決先進地」へ挑戦するとの方向性が示され、特に子育て世代を中心に「人づくり」や「若者誘致」など「人口増に向けた大胆な施策を進める」とされた。</p> <p>(1)認定子ども園について</p> <p>①子育て世代にとって、保育環境は居住地を選択する際にはとても重要</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				<p>な項目である。保育所と幼稚園のニーズには大きな差が生じている。0歳からの保育が可能な「幼保連携型認定子ども園」へのシフトを計画している園はあるのか。</p> <p>②認定子ども園の整備に向けては、地域と親、複数の行政担当部局など広範囲にわたる検証から進めなければならない。部局を超えた横断的な計画をいち早く示すべきではないか。</p> <p>③「質の高い教育」は、就学前教育においても当然求められるが、保育所は厚労省、幼稚園は文科省であり、認定子ども園へシフトする段階で人的配置・スキルなどの格差は生じないか。</p> <p>④ニーズ調査で、子育てしやすい社会にはどのような支援策が必要か、という問いに「働きながら子育てできる環境づくりを進めてほしい」が一番多かった。「認定子ども園」を進めていく上での課題は何か。</p> <p>(2)中心市街地活性化について</p> <p>子育て世代も含め、人づくり、若者誘致のためにも魅力ある雲南省の中心部を形成しなければならない。</p> <p>①都市計画マスタープランにおいて市中心部が示され、国(内閣府)の「中心市街地活性化基本計画」の認定に向け取り組むとされ、平成28年度に事業実施するスケジュールも示された。具体的な区域と面積は。</p> <p>②他地域の前例を見ると「中心市街地活性化基本計画」は、旧市街地のリニューアルを即す事業が多かったが、この度の雲南省の取り組みは、新たな市街地の形成に向け着手する事業である。「まち」を描くことは道路や公園、市内周辺部とのアクセスなどの、新たな公共工事も視野に入れた基本計画が必要では。</p> <p>③「ひと」の流入において、どのような中心市街地をイメージしている</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				<p>のか。松江市であれば城下町。大社町であれば神門通り、また、境港市であれば鬼太郎ロードなど、市外からの集客テーマが見える。市内からの集客は「消費」と「憩い、集いの場」と考える。雲南市は何をイメージしているのか。</p> <p>④若者の就労の場の確保のためには、大きな企業誘致も大変重要であるが、同時にこの中心部での起業や就職の果たす役割も大きい。地域内経済循環を持続させるためと後継者育成の観点からも「職人」を育成する項目で既存企業に対しての支援策を講じてはどうか。</p> <p>⑤第2次総合計画の人口施策は市政の最大課題である。「人口対策課」といったような専門部局を設置し、横断的且つ、包括的に展開できる組織体制を整えるべきでは。</p> <p>⑥「暮らしやすいまち」とは、中心部と周辺部とのアクセスは当然だが、さらに近隣市町村とのアクセスも欠かせない要素である。若者に、住居地か就労地、どちらか一方で雲南市に関わってもらうことがスタートであり、最終的に居住地として雲南市が選択されることが目標と考える。認定子ども園、中心市街地活性化基本計画、どちらも若者たちに「魅力ある雲南市」を訴える最大のキーポイントと考える。市長の決意と意気込みを伺う。</p>	
9	5	白 築 俊 幸 (一問一答)	1. 老人クラブについて	<p>(1)各支部の老人クラブへの加入率及び活動の状況を伺う。</p> <p>(2)三刀屋支部は2年前に解散されたと聞くが、要因は何か。</p> <p>(3)市として、老人クラブに期待するものは何か。</p> <p>(4)一定の運営費補助は必要であるが、支援策には工夫が必要。例えば、他市でやっているように「高齢者カード(仮称)」を交付し、それによって市内の温泉や各施設の割引利用を可能にする、また、老人クラブが行</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			<p>2. 総合センターの改築について</p> <p>3. 除雪対策について</p>	<p>う視察研修等に際し、必要となるバス代の補助などを考えてはどうか。</p> <p>(1)交流センターの整備方針は示されたが、総合センターについては、建築後相当の年数を経過しており、耐震工事等の必要なものもあるが、改築等についてどのように考えているのか。</p> <p>(2)掛合の交流センターは平成 28 年の建設が予定されており、既に準備が進んでいる。総合センターは、昭和 38 年の建設であり既に 50 年が経過している。先般、掛合町の 5 つの地域自主組織の連名により、放課後児童クラブや図書館の機能を併せ持つ複合施設として要望された。原発事故の際の災害対策本部の退避先にもなっており、建物・施設の有効利用、住民の利便性の向上からも効率的と考えるが、見解を伺う。</p> <p>(1)「雲南市高齢者世帯等住宅緊急除雪補助金交付要綱」によると、「雲南市災害対策本部」が設置された後が補助対象とされている。災害対策本部設置基準は、総合センターの積雪が 70 cm、山間部の観測地点で 130 cmとされているが、地域格差の大きい雲南市中で、屋根の雪降ろしは災害対策本部設置の基準と連動する必要はないと思うが、見解を伺う。</p> <p>(2)雪降ろしは、一般的に 10 万円程度掛かると聞く。補助額 2 万円では 2 分の 1 補助とはほど遠い。また 1 回で済まない場合も多いと思うが、この金額は妥当なものか。</p> <p>(3)市道の除雪は、原則、6 時開始とのことであるが、山間部に行くほど家と家との距離が長くなり、全戸完了までには時間が掛かる。また、山間部に行くほど出勤時間も早くなるが、柔軟な対応は出来ないか。</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			4. 市道整備について	市道については、市道整備事業あるいは道路安全確保維持修繕事業等により、計画的に推進されているところであるが、①広域消防の救急車が高規格化され、これまで乗入れ出来ていた道路が、車体が大型化されたことにより乗入れを躊躇することもあるようである。また、②除雪に当たって、除雪車が転回や方向転換がしにくい場所もあると聞いている。こうした箇所について、オペレータ等に聞き取り等を実施し、早急に整備していく必要があり、又そのことは、市内の中小の建設業対策としても有効と考えるが見解を伺う。	
10	17	堀江 眞 (一問一答)	1. 山間地域の農業について 2. 栗の生産組合について	(1)山間地農業の現状をどのように認識されているか。基幹産業であるとの思いに変わりはないか。 (2)集落営農組合や法人化された組織の運営状況をどのように認識されているか。 (3)昭和40年代から50年代に圃場整備された地域で圃場にほころびが出ている。土地改良事業で改良したいが、負担金が高く思いつくにも思いつけない現状がある。負担金の軽減を考えることはできないか。 (4)特に集落内でも周辺地域で、小規模の水路災害、また老朽により壊れた水路など、自力での復旧も難儀され、田んぼの放棄を考えるなど瀬戸際の圃場もある。きめ細かな対応が必要と思うが見解を伺う。 (1)栗の生産について、行政はどのように関与されているか伺う。 (2)平成26年度から栗の出荷方法に大幅な見直しがあったと聞く。承知されているか。 (3)長年組合独自で尽力されている。組合員の減少で対応に苦慮されている。地域内製菓店で展開されているスイーツ作りの重要な原材料だ。長	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			3. 畜産対策について	<p>い歴史のある栗生産組合の存続の危機だ。てこ入れするときと思うが見解を問う。</p> <p>(1)上山繁殖センターについて、繁殖センターの後継者対策などその後の状況を問う。</p> <p>(2)放牧場について、早くも5年経過して来年また更新となる。今後の活用など考え方を問う。</p>	
1 1	1 5	細 田 実 (一問一答)	<p>1. 集团的自衛権をめぐる政治情勢について</p> <p>2. 原子力安全対策について</p>	<p>(1)安倍首相は、5月15日記者会見し、他国のために自衛隊の武力を使う集团的自衛権の行使について、与党との協議が整えば行使を可能にする憲法解釈の変更を閣議決定する考えを明らかにした。これは自国の防衛に専念してきた戦後日本が、海外での戦争に参加できる道を開く安全保障政策の大転換であり、歴代内閣が長年守ってきた憲法解釈を一内閣の判断だけで変更するもので、その内容の是非を超えて近代立憲主義の根本を破壊する暴挙である。市長はどのように考えるか。</p> <p>(2)安倍首相は国家、国民の安全を保つことは軍事だけと考えているようにしか思えない。そうではないはずだ。市長はどのように考えるか。</p> <p>(1)島根原発2号機は新規規制基準の適合性確認申請を行い、審査を受けているが、規制基準は安全基準ではない。そうした中で現在の県、市の避難計画も実効性はない。雲南市との安全協定もない。そのような中で再稼働はありえないと思うがどのように考えるか。</p> <p>(2)原発防災訓練が今年も実施される。雲南市としてのこれまでの訓練総括と課題をどのように考えているか。</p> <p>(3)実効ある避難計画を作るために、自家用車での避難をした場合のシミュ</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			3. 健康福祉問題について	<p>レーションなど各種想定を行い公表すべきではないか。</p> <p>(1)地域包括ケアシステムの構築について。地域包括ケアシステムの構築が強く言われている。本システムを進めるためには、ひとつの医療機関だけでは不可能であり、行政を含めた雲南地域全体の取り組みが必要といわれている。また、医療、福祉だけでなく、交通問題、生活支援などまさに包括的な問題であると考えるが、雲南市の取り組みについて伺う。</p> <p>(2)肝炎対策について。日本の肝炎患者はB型C型総計 350 万人と推定（厚労省）されている。7月 28 日は世界肝炎デーであるが、この機会に検診の普及、広報に努めるべきではないか。検診の状況と今後の対策について伺う。</p>	
			4. 障害者差別解消法について	<p>(1)昨年 6 月、「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」（障害者差別解消法）が成立し、2016 年（平成 28 年）4 月 1 日全面施行される。この法律によると、「不当な差別的取り扱い」と「合理的配慮をしないこと」が差別になる。自治体の責務も大と思うが、法律への認識、雲南市の法施行に向けた準備状況、今後の取り組みを伺う。</p>	
1 2	6	多 賀 三 雄 (一問一答)	1. 集団的自衛権について	<p>(1)憲法解釈の変更による集団的自衛権の行使容認は、国全体のありようを大転換する大問題である。「平和を」の都市宣言をした雲南市の市長としてどう考えるか。</p>	
			2. 原発・エネルギー問題について	<p>(1)大飯原発訴訟で福井地方裁判所は原発の稼働を差し止める判決を出した。この判決をどう思うか。</p> <p>(2)安全審査について、市は、県・規制委員会に対して、中国電力が宍道断</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			3. 子ども子育て新制度について	<p>層の東西にある断層とのつながりの調査をすることを要求すべきと考えるが、どうか。</p> <p>(3)原子力発電は根本的な欠陥があり、不必要な原発の再稼働を断念することを求めるべきでは。</p> <p>(4)市は、期限を決めてエネルギー自立地域をめざすエネルギー計画の策定をしてはどうか。</p> <p>(1)将来にわたって保育を希望する児童全員が保育所に入所することは、可能か。</p> <p>(2)市が国の施策に上乘せ・横出ししている施策は今後も継続すべきと考えるが、どうするか。</p> <p>(3)保育所に入所している児童が、育児休業取得のため入所基準から外れる場合がある。保育の継続ができるよう、適用の幅を広げるべきと考えるが、どうするか。</p> <p>(4)保育所の入所基準は、保護者の就労状況等で判断される。障がい児など子どもの発達を促す視点からの入所を受け入れるべきと考えるが、どうするか。</p> <p>(5)子ども子育て支援新制度の開始に伴う、保育所の保育時間をどうするか。</p> <p>(6)保育の必要に対しては、「地域型保育事業」ではなく、基本的に認可保育所を増設、増員して対応すべきと考えるが、どうするか。</p> <p>(7)人材確保のために、公定価格の中の人件費アップ、正規雇用の比率の確保対策、消費税アップ分を含めるよう国に働きかけるべきと考えるが、どうするか。</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			4. 市民の負担軽減 について	<p>(8)施設・設備の整備への国庫負担の復活、あるいは「安心こども基金」の事業計画一期5年間の継続と公立の施設整備も対象にすることを国に求めるべきと考えるが、どうか。</p> <p>(9)「幼保連携型こども園」で市の保育義務は果たせるか。</p> <p>(10)子ども子育て支援新制度により、放課後児童クラブの基準を条例などで定める必要が出てくる。市は見直しを含めどのように考えているのか。</p> <p>(1)就学援助費について</p> <p>①入学時の初回の支給が遅い。入学前後に何らかの措置ができないか。</p> <p>②さらに、メガネ・コンタクトレンズも対象にしてはどうか。</p> <p>(2)国保料が高い。本算定はどうなるか。</p> <p>(3)水道料金を払わず給水停止された世帯数が多くなっている。いわゆる「支払い能力があるのに納めない悪質な事例」は、どのようにして判断しているのか。</p> <p>(4)徴税・保険料・各種使用料などの滞納の差押えについて、鳥取県のように、違法な差押えをしないための差押えのマニュアル化はしているか。</p>	
13	8	佐藤隆司 (一問一答)	1. 定住促進について	<p>(1)住宅地の確保について</p> <p>①住宅地の確保については、12月定例会での答弁では金丸団地の第2期分譲のほか未利用の市有地の活用、民間の宅地などで対応するとのことであった。市長は最近「定期借地権制度」を活用する旨の発言をされているが、具体的な考え方を伺う。</p> <p>②土地所有者・ユーザー(借地人)・ハウスメーカー及びディベロッパー(開発業者)それぞれが、三者三様ながら金銭的なメリットを得られるというのが、定借の大きな特徴と言われている。下熊谷地域はスプ</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			<p>2. 雲南市個人情報保護条例について</p> <p>3. 第2次雲南市総合計画について</p>	<p>ロール現象とも思えるほど民間アパートが建設されているが、「定期借地権制度」により行政として戸建て住宅の推進に取り組む必要性についての見解を伺う。</p> <p>③土地所有者、民間業者、行政の三者による三方一両損となるシステム(仮称)「住ま居る(スマイル)プロジェクト」を提案するが、見解を伺う。</p> <p>(1)個人情報の取り扱いについて</p> <p>①市が取得する市民の個人情報の「提供の制限」はどのような扱いになっているのか。</p> <p>②市の体育協会の支部協会において役員選考や総会準備上、各自治会のスポーツ委員の名簿を総合センターに提示を求めたが、提示いただけなかったとのことだが、個人情報保護のためか。</p> <p>③各自主組織が自治会長をはじめ役員を掌握するために提示を求めた場合はどうか。</p> <p>④各自主組織から個人情報(役員の名前、連絡先)照会された場合の市としての見解は。</p> <p>(1)基本構想について</p> <p>①総合計画の期間は、平成27年度から平成36年度までの10年間。前期5年、後期5年と定められた。計画策定は平成25年度から取り組まれており、前期5年は2年前からの将来を想定し策定することとなっている。(実質7年先)想定外の事象が多くスピード感ある施策が望まれると考えるが、見解を伺う。</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				<p>②あえて見通しづらい 5 年先の長い期間を計画期間とされる意味あるいは根拠は何か。</p> <p>(2)雲南市の目指す姿について</p> <p>①『人口の社会増』への挑戦として私たちの挑戦とあるが、社会動態の増を目指すものであり重要性や必要性は理解できるが、「私たち」は具体的に何を挑戦するというのか。</p> <p>②大きな 3 本柱の内、『健康長寿・生涯現役』は広く市民誰にも関わることであり、「私たち」はより具体的に挑戦することが目指されると考えるが、見解を伺う。</p> <p>③雲南ブランドプロジェクトは、第 1 次総合計画の中でどのような位置付けとなっていたのか。</p> <p>④雲南ブランドプロジェクトは、第 1 期 (H19～H21) 3 年間の集中的な取り組みをし、その成果を活かし第 2 期 (H22～H26) の取り組みがされている。平成 23 年度から雲南ブランド推進グループが新設され、特に「見える化」として情報発信に力を入れられてきたがその成果を伺う。</p> <p>⑤現在この取り組みは、産業振興、交流人口拡大、定住人口確保など市全体の施策効果を高めていく取り組みとなっている。第 3 期計画は策定されるのか伺う。</p> <p>⑥総合計画策定委員会では、雲南ブランドプロジェクトはどのように検証され、活かされるのか。</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
14	9	周 藤 正 志 (一問一答)	1. 第2次総合計画 の基本構想について	<p>これまでの歩みを踏まえ、現状認識と課題の把握が的確になされ、目指すべき方向と姿がわかりやすく端的に示されているかを質す。</p> <p>(1)「みんなで築くまち」</p> <p>①「中間支援組織の育成」の必要性と役割は何か。</p> <p>②男女共同参画都市宣言をしたからには、もっと「女性の視点、力」をまちづくりに活かさなければならないが、欠落しているのではないか。</p> <p>(2)「安全・安心で快適なまち」</p> <p>①生活基盤に加え「公共施設の計画的整備、修繕」も大きな課題だ。全国的に財産管理から「資産経営（ファシリティマネジメント）」の流れにあり、全庁横断的な取り組み（保有総量の縮小、長寿命化、有効活用）を進めるべきではないか。</p> <p>(3)「支えあい健やかに暮らせるまち」</p> <p>①格差拡大、二極化は大きな社会問題で無策であってはならない。低所得者（子どもの貧困を含む）や若年層の不安定雇用への対応など「格差是正」に向けた姿勢と取り組みが必要だ。</p> <p>②市制10周年を機に「健康都市宣言」をして健康づくりをまちづくりの柱にしていくのであるから、整合させるべきだ。</p> <p>(4)「ふるさとを学び育つまち」</p> <p>①「人権の世紀」にふさわしい人権全般への言及がないのは不十分ではないか。</p> <p>②3本柱の1つである「生涯学習」はゆとりや豊かさが実感できる社会になくってはならないものだが、抜け落ちているのではないか。</p> <p>(5)「挑戦し活力を産みだすまち」</p> <p>①まだ危機感の乏しい食糧問題だが、今後深刻さを増す。「食糧の自給、</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			2. 目くばり、気く ばりで支えあうま ちへ	<p>地産地消」など農業再生に向けた姿勢と取り組みを強調すべきではないのか。</p> <p>②「中小企業振興」をまちづくりの大きな柱に据えていくという条例の精神が生かされていないのではないのか。</p> <p>(6)プラチナ社会や里山資本主義にも通底する「新しいふるさとづくり」をしていくという基本構想であるが、一体何に根源的な価値をおくのか。</p> <p>(1)困窮した母子（父子）家庭が増えている。家賃補助や働く場を行政がつくっていくことも考えていくべきではないか。</p> <p>(2)電動四輪車を使用される方が増えている。例えば、歩道と車道の傾斜や段差などによって往来できない所や危険な所が多数ある。通学路の点検だけでなく、障がい者や高齢者の視点に立った安全対策がとられているか。</p>	